

# 『だれかの笑顔のために』

## みんながナンバー1 一致団結し 全力を出して 輝け 菊水っ子!!

今年の運動会のスローガンです。「校長先生、スローガンが決まりました。」と見せに来てくれました。とても素敵なスローガンに感動しました。

毎年、年度当初に先生方に次のように話します。「持久走大会ではやく走れるからえらいのではない。はやく走れるようになるための努力をしたからえらいのである。だから、走るのが遅くても、少しでもはやく走りたいと努力しているこどもはすばらしい。」 一致団結し、全力を出してがんばっているこどもは、みんなナンバー1なのです。今年の運動会でも、そんなこどもたちの姿を期待しています。

このスローガンを見て、ある運動会での出来事を思い出しました。それを紹介します。

1996年、神奈川県小田原市立城北中学校の運動会の出来事です。9月の運動会、2年生は団体競技としてクラス対抗の大縄跳びがありました。6分間で何回跳べるかを競います。2年1組には、運動が苦手で、みんなから安部ちゃんなどと呼ばれている男子生徒がいました。大縄跳びの練習をしますが、安部ちゃんが上手く跳べずに、連続して跳ぶことができません。

「一緒に跳ぶことが平等なのか それとも外すのが思いやりなのか」

クラス全員が悩みます。そして、話し合いの結果、安部ちゃんは「応援係」となりました。そして、予行練習の日、2年1組は123回を跳び、5クラス中1位となりました。

運動会前日。一人の女子生徒が先生に思いを伝えます。

「大縄跳びで安部ちゃんを外して跳ぶのは・・・やっぱりイヤです。」

放課後、クラスで話し合いが始まりました。「何で今頃言うんだ!」と怒りの声も聞こえます。

「勝ちたいから 安部ちゃんは入れない 応援係をしてもらう」(13人)

「安部ちゃんを入れて みんなで跳びたい」(12人)

みんなの意見は分かれました。その時、一人の生徒が立ち上がり言いました。

「俺たちが決めるんじゃなくて、安部ちゃんが決めることだよ。」

『跳びたい。』 普段は自分の思いを出さない安部ちゃんが、自分の思いを伝えた瞬間でした。

勝ちたいという気持ちが先走り 忘れかけていた何か…

安部ちゃんが跳びたいんだから みんなで跳びたい

勝ち負けなんて関係ないから 一緒に跳べればいい

予行練習で1位だったんだから もうそれでいい

本番は安部ちゃんと一緒に跳びたい

みんなの思いはひとつになっていました。



運動会当日、昼休みに最後の練習をしました。それでも、全然跳べません。そして、午後の本番。一人の生徒が安部ちゃんを抱きかかえて一緒に跳びます。すると何回か跳べました。その後、友達に抱きかかえられなくても、自分で一生懸命に跳んでいる安部ちゃんの姿がありました。

足元ばかり気にして見ていた先生が、その日の子どもたちの班ノートを読んで知ったことがあります。みんなが泣きながら跳んでいたことを。

競技終了後の結果発表。「5位 1組 71回」

結果は、5クラス中最下位でしたが、どのクラスよりも喜んでいたのが2年1組のみんなでした。

※別添で運動会の徒走・リレー選手名簿を本日配布しています。ご確認ください。